


# 平成26年度前期開催講座

会場：星薬科大学

月日	講座名	時間	受講料	講座内容	単位
4/12 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30   20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア</b> ●緩和医療における最近の視点 的場 元弘 (国立がん研究センター中央病院) ○【症例検討】	2
4/27 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30   17:00	2,000円	<b>小児科アレルギー・血液腫瘍疾患</b> ●アレルギーマーチからみた小児アレルギー疾患 滝沢 琢己 (群馬大学大学院医学系研究科) ●多発性骨髄腫の診断と治療 滝沢 牧子 (群馬大学大学院医学系研究科)	2
5/10 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30   20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア</b> ●緩和医療と麻酔科医の役割 垣花 学 (琉球大学医学部) ○【症例検討】	2
5/18 (日)	生涯教育講座	13:30   17:00	2,000円	<b>加齢</b> ●加齢と眼疾患 飯田 知弘 (東京女子医科大学病院眼科) ●COPDと肺の老化 福地 義之助 (順天堂大学医学部)	2
6/28 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30   20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア</b> ●多角的な痛みの評価と治療法 井関 雅子 (順天堂大学医学部) ○【症例検討】	2
6/29 (日)	大学院講義連携講座 (がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ)	13:30   17:00	2,000円	<b>栄養療法 up to date</b> ●消化器癌患者の栄養療法 Part 3(仮) 井上 善文 (大阪大学臨床医工学融合研究教育センター) ●経腸栄養の基礎と実践 丸山 道生 (田無病院)	2
7/6 (日)	大学院講義連携講座 (がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ)	13:30   17:00	2,000円	<b>漢方治療 up to date</b> ●がんの漢方治療 渡辺 賢治 (慶應義塾大学環境情報学部) ●がん患者のQuality of Lifeの向上に貢献する薬剤としての漢方薬： 作用機序に基づく漢方処方を選択 上園 保仁 (国立がん研究センター研究所)	2
7/12 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30   20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア</b> ●ベインクリニックにおける慢性痛と治療 山崎 光章 (富山大学医学部麻酔科学講座) ○【症例検討】	2
8/28 (木)	ファイザー共催 WEBシンポジウム	19:30   21:00	1,000円	<b>眼科治療 up to date</b> ●薬剤師が知っておきたい緑内障点眼薬の副作用 相原 一 (四谷しらと眼科) ●緑内障の点眼薬継続を考える～良好なアドヒアランスを目指して～ 内藤 知子 (岡山大学医学部眼科)	1
8/30 (土)	実技研修コース	14:00   17:00	5,000円	<b>無菌操作・基礎コース (講義・実技)</b> 町田 昌明・湯本 哲郎 (星薬科大学)	2
9/6 (土)	実技研修コース	14:00   17:00	5,000円	<b>無菌操作・応用コース (講義・実技)</b> 町田 昌明・湯本 哲郎 (星薬科大学)	2
9/7 (日)	日本肥満学会連携講座	13:30   17:00	2,000円	<b>生活習慣病改善指導</b> ●小児肥満 岡田 知雄 (日本大学医学部小児科) ●肥満と健康管理 中川 徹 (日立健康管理センタ)	2 ※
5月   9月	社会人大学院 (夜間開講) 講義受講コース	19:00   21:00	3,000円	<b>詳細はこちらをクリック</b>  <a href="http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/pdf/h26vakan1.pdf">http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/pdf/h26vakan1.pdf</a>	1.5

・本予定は変更させていただく場合がございます。変更等のお知らせは本学ホームページでご確認ください。

・星薬科大学認定薬剤師認定単位を2単位取得できます。ただしファイザー共催セミナーは1単位の取得となります

・大学院講義連携セミナーは日本緩和医療薬学会の後援を得ているため、本学認定単位または日本緩和医療薬学会認定単位のいずれかを選択することができます。

※9/7の日本肥満学会連携講座は、本学(G11)・日本薬剤師研修センター(G01)いずれかの認定単位を選択することができます。また、この講座は日本肥満学会と共催のため、希望者には生活習慣病改善指導士の認定試験申請資格に関わる単位(2単位)もに付与されます。